



CDR 検索の設定

CAR は、次の 3 つのレベルのユーザ用のレポート機能を備えています。このレベルとは、管理者、マネージャ、および個々のユーザです。CDR 検索を使用できるのは、CAR 管理者だけです。

この章の構成は、次のとおりです。

- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-8\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-10\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-13\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-17\)](#)

始める前に

CDR データを生成できるように、Cisco CallManager で統計が使用可能になっていることを確認してください。統計はデフォルトで使用可能になっているので、CDR データ生成を制御するサービス パラメータを使用不可にしていない限り、CDR 統計を使用可能にする必要はありません。統計サービス パラメータの詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

■ ユーザ内線番号による CDR 検索の設定

すべての CAR レポートで、CDR データが使用されます。最新の CDR データからレポートが作成されるようにしてください。デフォルトでは、CDR データは毎日深夜 0 時～午前 5 時にロードされます。しかし、必要に応じて、ロードの時刻、間隔、持続期間を設定できます。詳細については、[P.16-13 の「システムスケジューラの設定」](#)を参照してください。

ユーザ内線番号による CDR 検索の設定

ユーザ内線番号による CDR 検索機能を使用するのは、CAR 管理者だけです。

ここでは、ユーザまたは内線番号に基づく CDR データの詳細情報を表示する方法を説明します。

**注意**

CAR は、オフピーク時だけ使用してください。それ以外の時間に使用すると、データの収集とレポートの生成により、Cisco CallManager システムのパフォーマンスが低下することがあります。

手順

ステップ 1 CDR > Search > By User/Extension の順に選択します。

CDR Search by User Extension ウィンドウが表示されます。

ユーザ名と内線番号によって CDR データを検索できます。同じ検索でユーザと内線番号の両方を指定すると、検索を絞り込むことができます。



(注) 「!」や「X」などのワイルドカード パターンを入力して、内線番号を検索できます。「!」は各桁が 0～9 のいずれかである任意の n 桁を示し、「X」は 0～9 の範囲の 1 桁を示します。

ステップ 2 内線番号に基づいて CDR を検索するには、Extension フィールドに内線番号を入力します。

ステップ 3 **Add Extension** ボタンをクリックします。

ステップ 4 ユーザに基づいて CDR を検索するには、First Name フィールドまたは Last Name フィールドに、名前または姓の最初の数文字を入力します。

ステップ 5 **Find User** ボタンをクリックします。

ステップ 6 ユーザの他に内線番号を指定する場合は、Extension フィールドに内線番号を入力します。

ステップ 7 **Add Extension** ボタンをクリックします。

Report Criteria ボックスに内線番号が表示されます。

ステップ 8 Report Criteria ボックスから項目を削除するには、**Remove Extension(s)** ボタンをクリックします。**Remove All Extensions** ボタンをクリックすると、Report Criteria ボックスからすべての項目を削除できます。

ステップ 9 指定したユーザまたは内線番号について CDR データを表示する期間の日付範囲を選択します。

ステップ 10 **OK** ボタンをクリックします。

CDR-CMR Search Results ウィンドウが表示されます。

関連項目

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-24\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-25\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-26\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)

- コール終了の原因による CDR 検索の設定 (P.21-8)
- コール終了の詳細の表示 (P.21-10)
- コール優先レベルによる CDR 検索の設定 (P.21-13)
- 悪意のあるコールの CDR 検索の設定 (P.21-17)

ゲートウェイによる CDR 検索の設定

ゲートウェイによる CDR 検索機能を使用するのは、CAR 管理者だけです。

ここでは、特定のゲートウェイ タイプ、または選択されたルート パターンを使用するゲートウェイに基づいて、CDR データを検索する方法を説明します。



注意

CAR は、オフピーク時だけ使用してください。それ以外の時間に使用すると、データの収集とレポートの生成により、Cisco CallManager システムのパフォーマンスが低下することがあります。

手順

ステップ 1 CDR > Search > By Gateway の順に選択します。

CDR Search by Gateway ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 レポートに含めるゲートウェイのタイプを選択するために、ウィンドウの左側の列にある **Gateway Types** をクリックします。

ツリー構造を展開すると、[図 21-1](#) のように、ゲートウェイ タイプのリストが表示されます。

図 21-1 ツリー構造展開後のゲートウェイ タイプ表示画面

User Reports System Reports Device Reports CDR System Report Config Help Logout

CDR Analysis and Reporting
For Cisco IP Telephony Solutions

CISCO SYSTEMS

CDR Search by Gateway

Gateway Types

- Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateway
- Cisco Catalyst 6000 E1 VoIP Gateway
- Cisco Catalyst 6000 24 port FXS Gateway
- Cisco Catalyst 6000 12 port FXO Gateway
- Cisco DT-24+ Gateway
- Cisco DE-30+ Gateway
- Cisco AT-2 Gateway
- Cisco AT-4 Gateway
- Cisco AT-8 Gateway
- Cisco AS-2 Gateway
- Cisco AS-4 Gateway
- Cisco AS-8 Gateway
- H.323 Gateway
- Cisco MGCP FXO Port
- Cisco MGCP FXS Port

Select Gateways

List of Gateways

Selected Gateways*

Current Time : GMT:21:30 Local:3:00

From Date* Sep 17 2003 00 Hr 00 Min 00 Sec

To Date* Sep 17 2003 03 Hr 00 Min 08 Sec

OK Close

* indicates required item
** Type search string for Route Pattern(s)/Hunt Pilot(s), press Enter.

98751

ゲートウェイ タイプではなく、特定のルート パターンまたはハントリストを使用するゲートウェイだけを指定するには、ウィンドウの左側の列にある **Route Patterns/Hunt Pilots** をクリックします。

ツリー構造を展開すると、[図 21-2](#) のように、ルート パターンおよびハントパイロットのリストが表示されます。

図 21-2 ツリー構造展開後のルートパターンおよびハントパイロット表示画面

User Reports System Reports Device Reports CDR System Report Config Help Logout

CDR Analysis and Reporting
For Cisco IP Telephony Solutions

CDR Search by Gateway

Gateway Types

- Route Patterns/Hunt Pilots **
- 1111
- HL1
- 4
- 9.XXXX

Select Gateways

List of Gateways

Selected Gateways*

Current Time : GMT:21:35 Local:3:05

From Date* Sep 17 2003 00 Hr 00 Min 00 Sec

To Date* Sep 17 2003 03 Hr 00 Min 08 Sec

OK Close

* indicates required item
** Type search string for Route Pattern(s)/Hunt Pilot(s), press Enter.



(注) ウィンドウ左側の列にある **Route Patterns/Hunt Pilots** ボックスにルートパターンまたはハントパイロットの名前の一部を入力して、特定のルートパターンまたはハントリストを検索することもできます。CAR は、検索文字列と一致するルートパターンまたはハントリストを検索します。

ステップ 3 リストからゲートウェイタイプを選択します。

ゲートウェイの名前が **List of Gateways** ボックスに表示されます。



(注) **List of Gateways** ボックスには、選択したゲートウェイタイプに設定されているゲートウェイが 200 個まで表示されます。

ステップ 4 List of Gateways ボックスで、レポートに含めるゲートウェイを選択します。



(注) 一度に最大 15 個のゲートウェイにレポートを作成できます。

ステップ 5 下向き矢印アイコンをクリックして、選択したゲートウェイを Selected Gateways ボックスのリストに移動させます。

選択したゲートウェイが Selected Gateways ボックスに表示されます。

ステップ 6 CDR データを検索する期間の日時の範囲を選択します。

現在の時刻が、グリニッジ標準時と現地時間で表示されます。

ステップ 7 **OK** ボタンをクリックします。

関連項目

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-24\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-25\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-26\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-8\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-10\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-13\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-17\)](#)

コール終了の原因による CDR 検索の設定

コール終了の原因による CDR 検索機能を使用できるのは、CAR 管理者だけです。

ここでは、コール終了の原因に関する情報を検索する方法を説明します。

手順

ステップ 1 **CDR > Search > By Cause for Call Termination** の順に選択します。

Cause for Call Termination ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 コール終了の原因を検索するには、コール終了原因のリストで原因を強調表示します。



ヒント

キーボードの **Ctrl** キーを押した状態でクリックすると、複数の原因を選択できます。また、**Shift** キーを押した状態ですべての原因をクリックすると、リスト内の原因をすべて選択できます。

ステップ 3 選択した原因が強調表示されている状態で、**Selected Call Termination Causes** ボックスの上にある下向き矢印アイコンをクリックします。

Selected Call Termination Causes リスト ボックスに、選択した原因が表示されます。

ステップ 4 CDR データを検索する期間の日時の範囲を選択します。

現在の時刻が、グリニッジ標準時と現地時間で表示されます。

ステップ 5 **OK** をクリックします。

Call Termination Details ウィンドウに、レポートが生成されたときのレポート基準、および特定の時間の範囲に発生したコールの合計数が表示されます。[P.21-10](#) の「[コール終了の詳細の表示](#)」を参照してください。

関連項目

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-24\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-25\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-26\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [レポートのメール送信 \(P.18-26\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-10\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-13\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-17\)](#)

コール終了の詳細の表示

ここでは、コール終了の詳細の表示方法を説明します。

始める前に

P.21-8 の「[コール終了の原因による CDR 検索の設定](#)」の手順に従います。この手順によって、Call Termination Details ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、レポートが生成されたときのレポート基準、および特定の時間の範囲に発生したコールの合計数が一覧表示されます。

手順

- ステップ 1** Select CDRs フィールドで、表示する CDR の横にあるチェックボックスをそれぞれオンにします。または、リスト内の CDR をすべて表示する場合は、Select CDRs チェックボックスをオンにします。図 21-3 を参照してください。

図 21-3 Call Termination Details ウィンドウ

The screenshot shows the 'Call Termination Details' window. At the top, there is a navigation bar with links: User Reports, System Reports, Device Reports, CDR, System, Report Config, Help, Logout. Below this is a blue header with 'CDR Analysis and Reporting' and 'For Cisco IP Telephony Solutions'. The main content area has a yellow background and contains the following information:

Call Termination Details

Report Criteria:
 From Time: Jul 17, 2003 10:30:00 To Time: Oct 3, 2003 09:26:28
 Total Number of Calls : 102

Buttons: Send Report, Back, View CDRs

Call Termination Cause Value	Call Termination Cause Definition	Number of Call Legs	Percentage of Call Legs	Select CDRs *
1	Unallocated (unassigned) number	2	0.98	<input checked="" type="checkbox"/>
Total		2	0.98	

Status: Ready

Buttons: Send Report, Back, View CDRs

Note: Cause Values that are not reason for any call leg termination, are not shown in the report.

* indicates required item

98745

ステップ 2 表示する CDR を選択したら、**View CDRs** をクリックします。

CDR-CMR Search Results ウィンドウが表示されます。図 21-4 を参照してください。

図 21-4 CDR-CMR 検索の結果

The screenshot shows the Cisco CallManager CDR Analysis and Reporting interface. The main heading is "Cause for Call Termination - CDR-CMR Search Results". Below this, the report criteria are displayed: "Report Criteria From Time: Jul 17, 2003 10:30:00 To Time: Oct 3, 2003 09:26:28". A table lists the search results for call termination, with a call termination cause value of 1. The table has columns for SI No, Call Type, GCID_CMRId, Orig Node Id, Orig Leg Id, Calling No, Called No, Dest No, Last Rd. No, Media Info, and CDR - CMR Dump. Two rows of results are shown, each with "Others" and "View" links. Below the table, the status is "Ready" and there are navigation buttons for "Send Report" and "Back". The page number is "Page 1 of 1". A note at the bottom states "* indicates required item".

SI No	Call Type	GCID_CMRId	Orig Node Id	Orig Leg Id	Calling No	Called No	Dest No	Last Rd. No	Media Info	CDR - CMR Dump
1	Simple	12	10	167772190	402				4310 null null	Others View
2	Simple	13	10	167772220	402				4310 null null	Others View

このウィンドウで、**Others** リンクと **View** リンクをクリックすると、メディア情報と CDR-CMR ダンプ レコードが表示されます。CDR 検索結果レポートの読み方については、P.A-24 の「CDR 検索結果の概要」を参照してください。

ステップ 3 レポートを電子メールで送信するには、**Send Report** をクリックし、P.18-26 の「レポートのメール送信」に記載されている手順を実行します。

関連項目

- [メディア情報 \(P.A-25\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-26\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [レポートのメール送信 \(P.18-26\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-8\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-13\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-17\)](#)

コール優先レベルによる CDR 検索の設定

コール優先レベルによる CDR 検索機能を使用するのは、CAR 管理者だけです。ここでは、コール優先レベルに従ってコールを検索する方法を説明します。

手順

ステップ 1 CDR > Search > By Call Precedence Level の順に選択します。

CDR Search by Precedence Levels ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Select Precedence Levels で、検索するコール優先レベルのチェックボックスをオンにします。優先レベルについては、[表 21-1](#) を参照してください。



(注) すべての優先レベルのチェックボックスをオンにするには、**Select All** をクリックします。すべての優先レベルのチェックボックスをオフにするには、**Clear All** をクリックします。

ステップ 3 From Date フィールドで、CDR を検索する期間の開始日時を選択します。

ステップ 4 To Date フィールドで、CDR を検索する期間の終了日時を選択します。

ステップ 5 **OK** をクリックします。

コール優先レベルと値、コール レグの数、およびコール レグの割合を示す Call Precedence Details ウィンドウが表示されます。[図 21-5](#) を参照してください。

図 21-5 Call Precedence Details

The screenshot shows the 'Call Precedence Details' page in the Cisco CDR Analysis and Reporting tool. The page has a blue header with the Cisco logo and navigation links. Below the header, the title 'Call Precedence Details' is displayed in red. The report criteria are listed as follows:

Report Criteria:
Selected Precedence Levels: FLASH OVERRIDE, FLASH, IMMEDIATE, PRIORITY, ROUTINE
From Time: Jan 29, 2001 00:00:00 **To Time:** Mar 29, 2002 15:06:44
Total Number of Calls : 6

Below the criteria, there are three buttons: 'Send Report', 'Back', and 'View CDRs'. A table follows, showing the details of call precedence levels. The table has five columns: 'Call Precedence Value', 'Call Precedence Definition', 'Number of Call Legs', 'Percentage of Call Legs', and 'Select CDRs *'. The 'Select CDRs' column contains checkboxes, all of which are checked. Below the table, there is a 'Status: Ready' indicator and another set of 'Send Report', 'Back', and 'View CDRs' buttons. A note at the bottom left states '* indicates required item'. The page number '98740' is visible on the right side.

Call Precedence Value	Call Precedence Definition	Number of Call Legs	Percentage of Call Legs	Select CDRs *
0	FLASH OVERRIDE	2	16.67	<input checked="" type="checkbox"/>
1	FLASH	3	25.00	<input checked="" type="checkbox"/>
2	IMMEDIATE	2	16.67	<input checked="" type="checkbox"/>
3	PRIORITY	2	16.67	<input checked="" type="checkbox"/>
4	ROUTINE	3	25.00	<input checked="" type="checkbox"/>
Total		12	100.00	

ステップ 6 Select CDRs 列で、表示する CDR のチェックボックスをオンにします。

ステップ 7 View CDRs をクリックします。

CDR Search by Precedence Levels - Results ウィンドウが表示されます。図 21-6 を参照してください。

図 21-6 CDR Search by Precedence Levels - Results

CDR Analysis and Reporting
For Cisco IP Telephony Solutions

CDR Search by Precedence Levels - Results

Report Criteria
Selected Precedence Levels: FLASH_OVERRIDE, FLASH_IMMEDIATE, PRIORITY, ROUTINE
From Time: Jan 29, 2001 00:00:00 To Time: Mar 29, 2002 15:06:44

SI No.	Call Type	GCID_CMid GCID_CallId	Orig. Node Id Dest Node Id	Orig. Leg. Id Dest. Leg. Id	Calling No. Calling Partition	Called No. Called Partition	Dest. No. Dest. No. Partition	Last Rd. No. Last Rd. No. Partition	Media Info Orig Pkts Rcd Dest Pkts Last	CDR- CMR Dump
Precedence Level = 0										
1	TRANSFER	1 19	1 1	16777276 16777277	3000	5000	5000	5000	Others	View
2	TRANSFER	1 20	1 1	16777279 16777280	3000	2000	2000	2000	Others	View
Precedence Level = 1										
3	TRANSFER	1 19	1 1	16777276 16777277	3000	5000	5000	5000	Others	View
4	TRANSFER	1 20	1 1	16777279 16777280	3000	2000	2000	2000	Others	View
5	SIMPLE	1 20	1 1	16777298 16777298	2000				Others	View
Precedence Level = 2										
6	SIMPLE	1 25	1 1	16777290 16777290	3000	5000	5000	5000	Others	View
7	SIMPLE	1 25	1 1	16777289 16777290	3000	5000	5000	5000	Others	View
Precedence Level = 3										
8	SIMPLE	1 27	1 0	16777294 0	2000	1111	1111	1111	Others	View
9	SIMPLE	1 28	1 0	16777296 0	2000				Others	View
Precedence Level = 4										
10	SIMPLE	1 27	1 0	16777294 0	2000	1111	1111	1111	Others	View
11	SIMPLE	1 28	1 0	16777296 0	2000				Others	View
12	SIMPLE	1 29	1 0	16777298 0	2000				Others	View

Status: Ready
 << < > >> Send Report Back Page 1 of 1 Get

* indicates required item

ステップ 8 CDR のメディア情報を表示するには、Others リンクをクリックします。

ステップ 9 CDR-CMR ダンプ情報を表示するには、View リンクをクリックします。

表 21-1 コール優先レベル

優先レベル	優先順位	説明
Flash Override	0	
Flash	1	
Immediate	2	
Priority	3	
Routine	4	

ステップ 10 レポートを電子メール受信者にメールで送信するには、**Send Report** をクリックし、[P.18-26](#) の「レポートのメール送信」の手順を実行します。

関連項目

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-24\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-25\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-26\)](#)
- [レポートのメール送信 \(P.18-26\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-8\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-10\)](#)
- [悪意のあるコールの CDR 検索の設定 \(P.21-17\)](#)

悪意のあるコールの CDR 検索の設定

悪意のあるコールの CDR 検索機能を使用するのは、CAR 管理者だけです。

ここでは、悪意のあるコールを検索する方法を説明します。

手順

ステップ 1 **CDR > Search > For Malicious Calls** の順に選択します。

CDR Search for Malicious calls ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Select Extension(s) ボックスの Extension フィールドに内線番号を入力します。

ステップ 3 **Add Extension** をクリックします。

ユーザの内線番号が Selected Extension(s) ボックスに表示されます。

ステップ 4 ユーザの内線番号を検索するには、Search Extension(s) based on User(s) リンクをクリックします。

Search Extension(s) based on User(s) ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 First Name フィールドに、内線番号を検索するユーザの名前を入力します。

ステップ 6 Last Name フィールドに、内線番号を検索するユーザの姓を入力します。

ステップ 7 **Search** をクリックします。

ページが更新され、選択したユーザの個人情報が表示されます。

ステップ 8 Select リンクをクリックします。

ユーザの内線番号が Selected Extension(s) ボックスに表示されます。

■ 悪意のあるコールの CDR 検索の設定



(注) 内線番号を削除するには、削除する内線番号を強調表示し、**Remove Extension(s)** をクリックします。すべての内線番号を削除するには、**Remove All Extensions** をクリックします。

ステップ 9 From Date フィールドで、CDR を検索する期間の開始日時を選択します。

ステップ 10 To Date フィールドで、CDR を検索する期間の終了日時を選択します。

ステップ 11 OK をクリックします。

CDR Search for Malicious calls - CDR-CMR Search Results ウィンドウが表示されます。図 21-7 を参照してください。

図 21-7 CDR Search for Malicious calls - CDR-CMR Search Results

User Reports System Reports Device Reports CDR System Report Config Help Logout

CDR Analysis and Reporting
For Cisco IP Telephony Solutions

CDR Search for Malicious calls - CDR-CMR Search Results

Report Criteria
From Time: Jul 11, 2003 10:30:00 To Time: Sep 9, 2003 10:02:25

Call No	Call Type	GCID_CMid GCID_CallId	Orig Node Id Dest Node Id	Orig Leg Id Dest Leg Id	Calling No Calling Partition	Called No Called Partition	Dest No Dest No Partition	Last Rd. No Last Rd. No Partition	Media Info		CDR - CMR Dump
									Orig Pkts Rcd Lost	Dest Pkts Rcd Lost	
1	Simple	1 1	1 1	16777217 16777218	400	401	401	401	322 0	322 0	Others View
2	Transfer	1 21	1 1	16777271 16777272	400	401	401	401	687 0	240 0	Others View

Status: Ready

<< < > >> Send Report Back Page 1 of 1 Get Page 1

* indicates required item

98755

ステップ 12 CDR のメディア情報を表示するには、Others リンクをクリックします。

ステップ 13 CDR-CMR ダンプ情報を表示するには、View リンクをクリックします。

ステップ 14 レポートを電子メール受信者にメールで送信するには、[P.18-26](#) の「[レポートのメール送信](#)」の手順を実行します。

関連項目

- [CDR 検索結果の概要 \(P.A-24\)](#)
- [メディア情報 \(P.A-25\)](#)
- [CDR ダンプ テーブルおよび CMR ダンプ テーブル \(P.A-26\)](#)
- [レポートのメール送信 \(P.18-26\)](#)
- [ユーザ内線番号による CDR 検索の設定 \(P.21-2\)](#)
- [ゲートウェイによる CDR 検索の設定 \(P.21-4\)](#)
- [コール終了の原因による CDR 検索の設定 \(P.21-8\)](#)
- [コール終了の詳細の表示 \(P.21-10\)](#)
- [コール優先レベルによる CDR 検索の設定 \(P.21-13\)](#)

